

令和8年度 「豊川用水上下流交流事業」を実施しました



8月1日は「水の日」で、8月1日から8月7日は「水の週間」です。当土地改良区では、毎年、この時期にあわせて、(公財)愛知・豊川用水振興協会と共催で、上下流交流事業を実施しています。

(独)水資源機構に見学協力をしていただき、愛知県東三河水道事務所、愛知県土地改良事業団体連合会にグッズの提供をしていただいています。

この事業は、豊川用水の水源地や上流地域、下流地域の児童及び保護者、教員の方々を対象に、普段生活している場所とは違う施設等を見学してもらい、農業における水の有効利用について学習することを目的としています。

第10回目となる今年は、令和8年8月7日(金)に実施し、下流地域にある豊橋市立栄小学校の児童49名にご参加いただき、新城市の大島ダム、牟呂松原頭首工などに行きました。

第50回

8/1は水の日

8/1~7は水の週間



大島ダム



大島ダムの監査廊（ダム内の通路）



小水力発電施設の説明

ダムの検査などに用いる「監査廊」を通して、ダムの構造や、管理の仕事を学びました。
また、大島ダムに併設されている小水力発電施設も見学しました。

寒狭川広見や十



アユのつかみどりの様子



昼食に、獲ったアユを食べる様子

昼食は自分で獲ったアユを塩焼き、フライに調理してもらって食べました。

牟呂松原頭首工



農業に関する講演の様子



魚道を覗き込む児童たち

農業者の理事による講演を聞いて、農業に使われる水について学びました。